

## ソフトボール女子U16日本代表

### 森田 歩 さん (下吾川)

森田歩さんは、8月9〜16日にチエコ・プラハで開催される「S F イーストン・ファンデーション・ユースソフトボールワールドカップ」に、ソフトボール女子16歳以下の日本代表として出場します。また、今年の7月からは、済美高校ソフトボール部のキャプテンとして、日々ソフトボールに打ち込んでいます。

「8歳のとき、友だちの誘いで、バンビーズ市内のソフトボールチームに入りました。すぐにソフトボールが好きになり、練習のない日には、父の指導のもと、自宅の庭でトスバッティングをしています。

小学5年生では、全国大会ベスト8。中学生時代にも、全国大会出場と輝かしい成績を残す森田さん。済美高校に進学し、ソフトボール部に入部しました。

「平日は、3時間。土・日曜日は、5時間の練習をしています。その中でも、アップと呼ばれているストレッチと筋トレを兼ねた練習がかなりバテます。1年生のころは、それだけで下半身がガクガクになります。」

「部活の練習以外にも、家族の休みがあつ日には、新川シーサイド公園で、父がバッター。母がキャッ



▲女子U16日本代表第1次強化合宿(7月17〜20日)で打席に立つ森田選手

チャー。妹と私が守備でノックをしています。」

日ごろの努力が実を結び、高校1年生からレギュラーとして、インターハイ出場などを果たしている森田さんは、今年の4月、監督の助言もあり、全日本代表(16歳以下)の選考会に参加し、その1か月後、日本代表に選ばれたという連絡が入りました。

「選ばれるとは思っていなかったのですが、正直ビックリという気持ちとうれしい気持ちでした。」

7月には、日本代表強化合宿が行われ、全国から集まった17人は、8月に開催されるワールドカップに向けて合宿を行いました。

「合宿初日は、会話もあまりなくギクシヤクしていました。日が経つにつれて仲良くなりました。3日目に行われた女子ソフトボール一部リーグのトヨタとの試合では、大差で負けましたが、合宿最終日のデンソーとの試合では、チームプレーも上達し、0対0と満足いく試合ができました。」

ソフトボールを通じて、たくさん友だちができたこと、また、礼儀を学べたことが良かったという森田さんは、部活のキャプテンとして、また、U16日本代表として、ソフトボールを始めた頃に感じた大好きだという思いを胸に、これからも飛躍し続けます。